

# ウェストパック銀行

## 2005年9月30日現在の概要

### 主要データ

#### オーストラリア第一の銀行

- 創業1817年

#### 2005年9月半期のキーポイント

- 純利益 28億1,800万豪ドル
- 利益(キャッシュベース) 28億7,400万豪ドル
- 利益(キャッシュベース) 21%
- ROE(株主資本利益率、キャッシュベース) 7.2%
- 総資産 2,600億豪ドル
- 総預金 1,490億豪ドル

顧客数 830万

#### 信用格付

	短期	長期
ムーディーズ	P-1	Aa3
S&P	A-1+	AA-

#### 時価総額

- 390億豪ドル

#### 上場

- オーストラリア証券取引所
- ニューヨーク証券取引所(米国預託証券銘柄)
- 東京証券取引所
- ニュージーランド証券取引所

#### さらに詳しい情報は下記まで:

www.westpac.com.au/  
investorcentre

### 概観

ウェストパック銀行はオーストラレーシア4大銀行の一つであり、時価総額では、世界で上位50行以内という実績を誇る<sup>1</sup>。

リテールから企業、機関投資家まで、幅広い種類の顧客を対象に銀行業および金融サービスを提供、さらに高成長の資産運用事業も展開している。

他の追随を許さない優れた実績の背景には、次のような理由が挙げられる:

- 堅調な利益 - EPS(一株当たり利益、キャッシュベース)の年複合成長率は過去5年間を通じて11%、ROE(株主資本利益率)は21%を記録。
- 配当性向64%、配当利回り4.6%<sup>2</sup>。
- オーストラリアおよびニュージーランド、そして近隣の太平洋地域の市場を主なターゲットとして事業を展開。
- サステナビリティの分野において、世界的リーダーとして活躍。ウェストパックは、ダウジョーンズ持続可能度指数(DJSI)のグローバルバンキング部門において、4年連続で1位の座に輝いている。

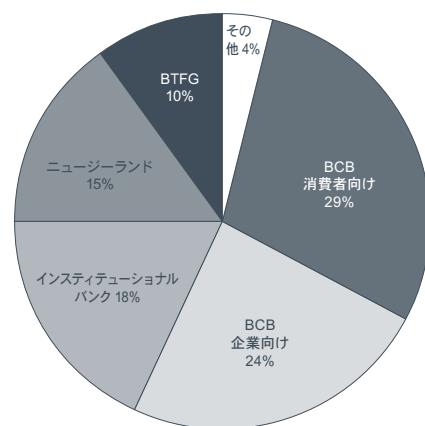
### 全体的な業績概要

2005年の利益(キャッシュベース)は12%、EPS(一株当たり利益、キャッシュベース)も同じく12%の増加を達成。これは、ウェストパックグループ全事業部門の好成績に支えられた業績であるが、中でも特にBTファイナンシャル・グループ(BTFG)は48%、企業・消費者向けバンキング(BCB)は15%という顕著な伸びを見せている。

こうした業績の背景には、10%の増加を遂げた営業収入と、わずか4%に抑えられた支出増加率が存在している。この結果、経費率(費用/収入)は46.6%に減少し、同年下半期には、オーストラリア国内の主要銀行の中で最も低いものとなった。

貸出・手形引受け額は過去1年間で7%の伸びを見せている。

利益(キャッシュベース)の内訳



<sup>1</sup> FTグローバル 500による2005年の調査結果

<sup>2</sup> 2005年11月8日現在の数値

# 企業・消費者向け バンキング (BCB)

## 主要データ

### 事業区分

- リテールバンキング
- 消費者向け
- 中小企業向け  
(取引高2,000万豪ドル未満)
- 中堅企業向け  
(取引高1億2,500万豪ドル未満)

### 2005年9月半期のキーポイント

- 利益 (キャッシュベース) 15億3,700万豪ドル
- 経済的利益 12億2,800万豪ドル
- 預金 831億豪ドル
- 資産 1,483億豪ドル
- 経費率 (費用/収入) 50.7%

### 主要商品の成長率

- 住宅向け融資 8%
- 企業向け融資 7%
- 個人融資 (無担保) 2%
- 預金 11%

### 支店および窓口

- 813支店およびインストアブランチ
- ATM 1,653カ所
- EFTPOSターミナル 約82,500カ所

従業員 12,403名

## 業務概要

企業・消費者向けバンキングは、オーストラリア国内の個人顧客および中小企業を対象に金融サービスを行っている。その業務は、全国を網羅した支店ネットワークおよび外交販売員、コールセンター、ATM、電子銀行業務、そしてブローカーなどの第三者を通じて行われている。

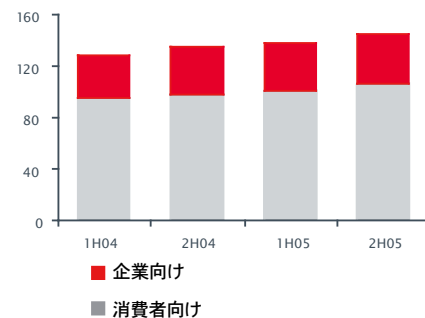
## 全体的な業績概要

- 銀行間の競争激化にもかかわらず、利益 (キャッシュベース) は前年度比15%増の15億3,700万豪ドルという堅調な伸びを実現。
- スプレッドは若干下降したものの、貸出・手形引受け額の8%増と、預金の11%増を受け、純受取利息は8%の増加。
- 支店窓口の拡張やその他システムの改善によって、より多くの顧客が従業員に接することが可能となった。加えてCRM基盤の充実もあり、業務の最前線であるカスタマーサービスが大きく向上を遂げた。
- 経費率 (費用/収入) が170ベースポイント向上。

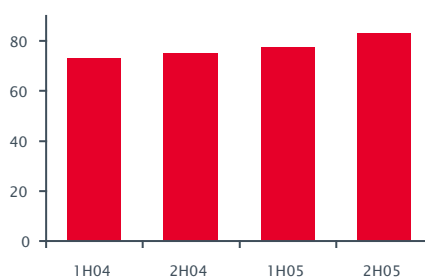
## 基本戦略

- 全体的に大きな伸びを達成した2005年下半期の勢いを持続し、また、これまで行ってきたインフラストラクチャーおよびカスタマーサービス分野への投資の活用を努める。
- 販売技術指導プログラム「ウェストパック ウェイ」をさらに推進し、カスタマーサービスおよび販売部門のさらなる革新と向上を目指す。
- 資金運用およびトランザクションバンキングの分野より、技能の価値創出をはかる。

貸出・手形引受け額 (単位: 10億豪ドル)



個人預金 (単位: 10億豪ドル)



# ウェストパック インスティテューショナル バンキング

## 主要データ

### 主要事業

- 外国為替および金利リスク  
マネジメント
- 債権金融および資本市場
- 特殊資本グループ
- トランザクショナルバンキング

### サービス提供エリア

- オーストラリア、ニュージーランド、  
ニューヨーク、ロンドンおよび  
アジア地域

### 2005年9月半期のキーポイント

- 利益（キャッシュベース）  
5億1,800万豪ドル
- 経済的利益 3億2,500万豪ドル
- 経費率（費用／収入） 42.5%
- コミットド・レンディング・  
エクスポージャー合計  
945億豪ドル

### 市場占有率／地位<sup>1</sup>

- 豪州国内リーディングバンク 1位
- 外国為替市場占有率 1位
- 債権資本市場 1位
- リーディング トランザクショナル  
バンク 1位

従業員総数 1,283名

## ウェストパック インスティテューショナル バンク (WIB)

WIBの主な業務内容は、法人、機関および政府顧客を対象とした金融サービスの提供である。金融市場や資本市場、特殊資本およびトランザクショナルバンキングの各専門家よりサポートを得て、献身的な業界チームが運営を行っている。そのサービス提供エリアは広範囲にわたり、オーストラリアはもちろん、ニュージーランド、ニューヨーク、ロンドンおよびアジア各地域に設置された支店および子会社を通じて顧客のサポートを行っている。

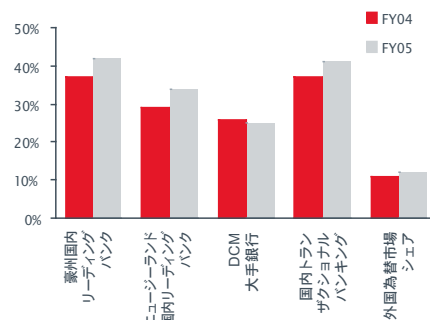
## 全体的な業績概要

- 支出増の2.5倍以上にも上る増収に支えられ、コア利益は11%の増加を達成。
- 外国為替の収益に支えられ、金融市場の収益は13%の増加。
- トランザクショナルバンキングの収益は20%の増加。
- 急速に成長を続ける特殊資本グループ  
ー 2004年を通じて預かり運用資産は64%の増加。
- 不良債権には増加傾向が見られるが、長期的な上昇率よりは低く、優れた企業の信用の質を反映したものとなっている。

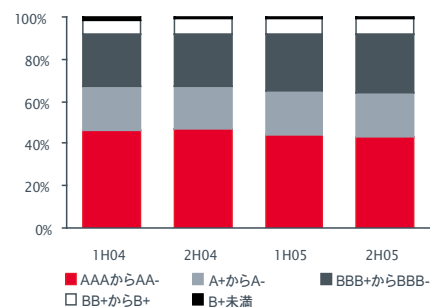
## 基本戦略

- オーストラレーシア地域内のホールセールバンキング業界において、強力なリーダーシップを維持する。
- 代替的投資やストラクチャード投資、株式関連の派生商品、ストラクチャードクレジット取引など、安定成長市場において継続的な競争力の強化に努める。
- リスク因子の最適化に努める一方で、より安定した年間配当による収入からの利益比を高める。
- 強力な準拠・統治枠組みを維持。

リーディングバンクの関係<sup>1</sup>



ローンの格付に基づくコミットド・エクスポージャー合計の内訳



<sup>1</sup> 出典：ピーター・リー・アソシエーツ

# ニュージーランド・太平洋地域バンキング

## 主要データ<sup>1</sup>

- ニュージーランドでは1861年、太平洋地域では1901年以来営業
- ニュージーランド国内の顧客総数は140万

## 2005年9月半期のキーポイント

- 利益 (キャッシュベース) 4億8,400万NZドル
- 経済的利益 2億2,800万NZドル
- 資産 333億NZドル
- 預金 199億NZドル
- 経費率 (費用/収入) 47.0%

## 主要商品の成長率

- 融資 14%
- 預金 7%

## 支店および窓口

- 195支店およびインストアブランチ
- ATM 471カ所
- オンラインバンキングの顧客総数 約48万6,000

従業員 5,000名

## ニュージーランド・太平洋地域バンキング

ニュージーランド・太平洋地域バンキングは、ニュージーランドおよび太平洋地域の個人ならびに企業の顧客を対象として、通常銀行業務、資産運用商品およびサービスを提供。ニュージーランド国内最大の銀行の一つであり、全国に140万の顧客ベースを擁している。太平洋地域バンキングは、クック諸島、フィジー、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、バヌアツを網羅。

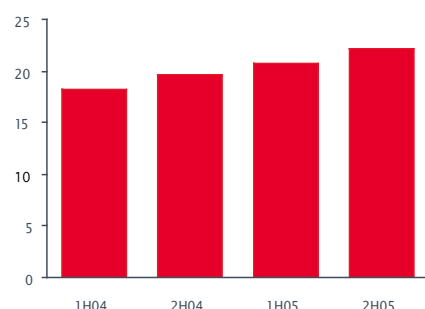
## 全体的な業績概要<sup>1</sup>

- 2桁増収と限定的な支出増、貸倒償却損の減少に支えられ、利益 (キャッシュベース) は7%の増加。
- 特に住宅市場の融資および預金の安定成長がスプレッドの縮小を一部カバーし、純受取利息は5%の増加。
- 中間市場および不動産金融の堅調な業績に支えられ、企業向け融資は19%の増加。
- 経費率 (費用/収入) は120ベースポイント (47%) の増加。
- パシフィックバンキングは、6,300万豪ドルの利益 (キャッシュベース) を記録。

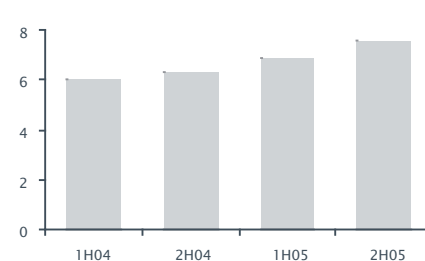
## 基本戦略

- 企業向けバンキング部門の成長を生かし、その堅調な拡大に努める。
- 引き続き顧客満足度の向上に努め、既存の顧客ベースが持つ可能性を最大限に活用する。
- 従業員教育に力を注ぎ、業界のリーダーシップならびに質の高いスタッフの維持に努める。

住宅向け融資残高 (単位: 10億NZドル)



企業向け定期融資残高 (単位: 10億NZドル)



<sup>1</sup> 特に明記のない限り、データはすべてニュージーランドバンキングが対象、単位はニュージーランド・ドル (NZ\$)。

# BT ファイナンシャル・グループ (BTFG)

## 主要データ

### 2005年9月半期のキーポイント

- 預かり運用資産<sup>2</sup> 371億豪ドル
- ファンド・アンダー・アドミニストレーション<sup>2</sup> 345億豪ドル
- 保有契約高 2億4,000万豪ドル
- 利益 (キャッシュベース)  
2億7,600万豪ドル
- 経済的利益 9,700万豪ドル

### 市場占有率

- ファンド仲介: 第2位 12.1%
- 企業向けスーパーアニュエーション: 第5位 7.0%
- マージン レンディング: 第3位 14.3%
- 仲介業務: 第3位 10.5%
- リテール: 第8位 4.0%

### 上昇した格付

- Van Eyk A
- Lonsec RECOMMEND
- ASSIRT 3つ星

従業員 1,762名

## BT ファイナンシャル・グループ (BTFG)

BTFGはウェストバックの資産運用部門であり、投資管理、一般および生命保険、マージンレンディング、スーパーアニュエーション、退職年金および資産運用計画のアドバイスを主な業務としている。オーストラリア国内で第4位の規模を誇るリテール ファンドマネージャーであり、管理・運営資産総額は720億豪ドルに上る。

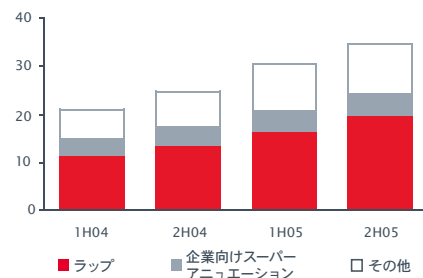
## 全体的な業績概要

- 利益 (キャッシュベース) は2億7,600万豪ドルで前年比48%の増加 (ワンオフ商品のみ30%増)。
- 営業収入は23%の増加。
- 高い運用成績を維持 – 主要ファンドによる収益は、1、2、3年において上位4分の1に位置。
- 資産管理プラットフォームおよびラップ、企業向けスーパーアニュエーションの急成長に支えられ、ファンド・アンダー・アドミニストレーションは39%の増加。
- マージン レンディングの差引残高は、前年比38%増の25億豪ドル。
- 生命保険の部門において13%の増収を達成。

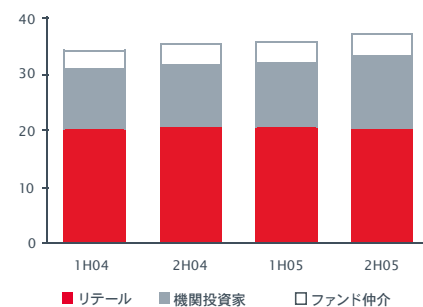
## 基本戦略

- より一層の投資を促し、独立系ファイナンシャルプランナーによる使用を増やすことにより、資産管理プラットフォームの継続的な成長に努める。
- 優れた投資運用成績を生かし、預かり運用資産の拡大に努める。
- 幅広い銀行業務の機会を活用し、保険業におけるクロスセル率の向上に努める。

ファンド・アンダー・アドミニストレーション合計<sup>1,2</sup> (単位: 10億豪ドル)



預かり運用資産合計<sup>1,2</sup> (単位: 10億豪ドル)



<sup>1</sup> BTFG (オーストラリア) 提供の内部データ

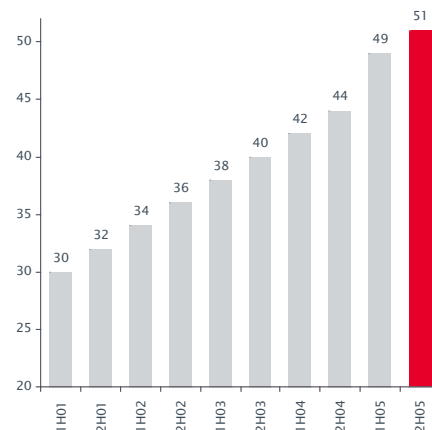
<sup>2</sup> これまで、企業向けスーパーアニュエーションの差引残高は、預かり運用資産の中で認識されていた。

# 財務諸表

## 資本金および配当金

- 堅実な成長を続けるウェストパックは、過去10期の間、半期毎に配当を増額させている。
- 2005年には、普通株一株あたり51セントの最終配当（100%適格配当）を宣言。これは前年比16%増で、年間配当を100セントにするものである。
- 2005年の好調な業績は、10億豪ドルを超える余剰資本の創出に象徴されている。
- この余剰資本が、配当の増額および、先に発表した約7億豪ドルのストラクチャード・オフマーケット・バイバック（買戻し）<sup>1</sup>を可能にしている。
- 同時に当行は、主要資本比率を目標値以上に、および税引き後の差引残高を黒字に保ち、将来も資本金ベースを効果的に運用できるよう柔軟性を保っている。

一株当たりの配当金（単位：豪セント）



(特に明記のない限り、単位はすべて百万ドル)	2005 A\$	2004 A\$	2003 A\$	2002 A\$	2001 A\$	2000 A\$
<b>財務実績報告 - 年度末 (9月30日)</b>						
営業純利益	8,805	8,010	7,330	7,124	6,588	6,083
営業経費	(4,105)	(3,940)	(3,763)	(3,895)	(3,472)	(3,405)
不良債権	(382)	(414)	(485)	(461)	(433)	(202)
法人所得税費用差引前の通常業務からの利益	4,150	3,492	2,919	2,668	2,585	2,378
法人所得税費用	(1,222)	(913)	(728)	(471)	(677)	(660)
株主に帰せられる純利益	2,818	2,539	2,183	2,192	1,903	1,715
利益 (キャッシュベース)	2,874	2,559	2,271	2,244	1,950	1,770
<b>9月半期の財政状態報告</b>						
総資産	259,753	245,079	221,339	191,037	189,845	167,618
貸出・手形引受け額	200,453	188,005	164,261	140,658	137,950	123,198
預金・公的借入金	149,454	146,533	129,071	110,763	96,157	89,994
純資産	17,212	16,317	13,996	10,468	9,705	9,262
リスク加重資産合計	170,369	158,489	142,909	128,651	127,242	114,816
<b>株式情報</b>						
EPS (一株当たり利益 - セント)	144.8	129.2	115.6	118.3	102.8	88.8
普通株一株当たりの配当金 (セント)	100	86	78	70	62	54
普通株一株当たりの正味固定資産 (ドル)	6.21	5.47	4.97	4.56	4.28	3.96
<b>比率</b>						
自己資本比率 (Tier 1) (%)	7.2	6.9	7.2	6.5	6.3	6.6
調整普通株 (ACE) (%)	5.4	4.8	5.0	-	-	-
総資本比率 (%)	9.7	9.7	10.5	9.6	9.9	9.9
配当性向 (%)	69.0	66.6	67.5	59.2	60.3	60.8
異常項目差引前のROE (株主資本利益率) (%)	20.7	19.9	19.2	21.7	21.1	18.4
平均調整普通株に対する利益率 (キャッシュベース) (%)	21.4	20.7	20.3	21.9	21.4	19.0
営業収入に対する営業経費の比率 (%)	46.6	49.2	51.3	54.7	52.7	56.0
純金利率率 (%)	2.50	2.53	2.62	2.81	3.11	3.10

<sup>1</sup> 米国、カナダ、日本に居住の方々にはご利用いただけませんので、悪しからずご了承ください。